

上野駅 上野の森コンサート

ガレリア
入場無料



クアルテット・レストロ・アルモニコ

Quartetto L'estro Armonico

2016年、これまで国内外で研鑽、活動を続けてきたメンバーが東京に集まり、結成。

伊藤亜美(ヴァイオリン)はスイス、イギリス、オーストリアで研鑽を積み、ソリスト、室内楽奏者として活動。須山暢大(ヴァイオリン)は国内外のコンクールで入賞、国内オケでゲストコンマス等多数務める。安達真理(ヴィオラ)はオーストリア、スイスで研鑽を積み、インスブルック交響楽団で副首席ヴィオラ奏者を務めたのち帰国。山澤慧(チェロ)は現在藝大フィルハーモニアにて首席チェロ奏者を務める傍ら、現代音楽のみの無伴奏チェロリサイタルなど精力的に行う。

グループの名称はヴィヴァルディの協奏曲集「レストロ・アルモニコ(調和の靈感)」からインスピレーションを受けたもの。多彩なバックグラウンドを持つ4人が、お互いを尊重し、かつ自由な発想で、弦楽器特有の精密な調和を目指していきたいという想いが込められている。音楽の深く広い表現を追求するべく、その極みとも言える弦楽四重奏に21世紀らしい独自の視点でアプローチしていく。



東京少年少女合唱隊

The Little Singers of Tokyo

ヨーロッパの伝統音楽に基づく音楽教育を目的とする日本初の本格派合唱団として1951年設立。今年創立65周年を迎えた。グレゴリオ聖歌から現代作品までレパートリーは幅広く、松平頼暁、一柳慧、細川俊夫等への委嘱作品も数多い。年2回の定期公演の他、1964年の訪米以来海外公演は33回を数える。国内外のオーケストラ、オペラ劇場との共演も多く、C.アバド指揮ベルリン・フィルをはじめ、近年ではF.ルイーゼ指揮N響オルフ「カルミナ・ブラーナ」、東京・春音楽祭R.ムーティ指揮ボイト「メフィストフェレ」に出演し、高い評価を得た。2011年創立60周年記念演奏会「手をつなごうコンサート2011」をサントリーホールで開催、英国エディンバラ聖メアリー大聖堂聖歌隊を招聘して国内の合唱団員300余名と東北地方へオマージュ演奏を献歌した。昨年秋にマカオ公演と年末年始にイタリア公演を実施。元旦にはサン・ピエトロ大聖堂にてフランシスコ・ローマ教皇による新年のミサで全世界の聖歌隊と共に祈りを捧げた。



長谷川 久恵(指揮)

Hisae Hasegawa

東京少年少女合唱隊の常任指揮者。主催公演並びに海外公演を牽引する傍ら、国内外のオペラ・オーケストラ等の外部公演にてコーラスマスターを数多く歴任。近年混声合唱曲にも対応する「コールスLSOT」や声楽アンサンブル「Vintage Voice of LSOT」を組織し、幅広い演奏活動を展開。国内外の合唱コンクールの審査員や合唱祭などでも講師を務める。

東日本鉄道文化財団では作曲家の池辺晋一郎氏を音楽監督としてお迎えし、2006年より年に2回、春と秋に仙台駅「杜の都コンサート」、上野駅「上野の森コンサート」を実施しております。「日々多くの人が行き交う駅を舞台に、誰もが気軽に音楽を鑑賞できるコンサート」を合言葉に、クラシック音楽を中心にしながらも、ジャンルを超えて様々な音楽をお楽しみいただいております。開催回数はこれまで「上野の森コンサート」50回、「杜の都コンサート」65回を数えております。いつもの駅でひとときのコンサート、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

公益財団法人 東日本鉄道文化財団



音楽監督：池辺晋一郎 主催：公益財団法人 東日本鉄道文化財団 後援：東日本旅客鉄道株式会社 お問い合わせ：東日本鉄道文化財団 Tel:03-5334-0623 <http://www.ejrct.or.jp>
※諸事情により、出演者・曲目等が変更になる場合がございます。また、ご来場者が多数の場合、入場規制させていただきます。ご了承ください。今後の公演情報は随時、公益財団法人 東日本鉄道文化財団のホームページに更新いたしますので参照ください。<http://www.ejrct.or.jp/concert/index.html>